

# Financial Highlights

## 2024 Fiscal Year 1Q

May.2024

株式会社スタメン 証券コード: 4019

2024年12月期 第1四半期 決算説明資料

stmn, inc.





# INDEX

2024年12月期 第1四半期実績	02
従業員エンゲージメント事業 [ TUNAG ]	09
コミュニティエンゲージメント事業 [ FANTS ]	16
2024年12月期 業績見通し	20
補足資料	23

2024年12月期

# 第1四半期実績

# TUNAGの利用企業数、平均MRRともに安定的な成長を継続。 FANTSについても運営コミュニティ件数、平均MRRの両指標が伸長。

ARR<sup>※1</sup>**19.1億**

前年同期末 13.4億

TUNAGの利用企業数<sup>※2</sup>**819社**

前年同期末 605社

TUNAGの平均MRR<sup>※2</sup>**194千円**

前年同期末 185千円

TUNAGの売上高ストック比率<sup>※3</sup>**93.1%**

前年同期 91.8%

ARR<sup>※1</sup>**1.5億**

前年同期末 1.3億

FANTSの運営コミュニティ件数<sup>※2</sup>**136件**

前年同期末 126件

FANTSの平均MRR<sup>※2</sup>**95千円**

前年同期末 88千円

FANTSの売上高ストック比率<sup>※3</sup>**62.7%**

前年同期 67.6%

※1：四半期末時点のストック収益（MRR）に12を乗じた金額

※2：TUNAG / FANTS の利用企業数、運営コミュニティ件数、平均MRRは、各四半期末時点の実績を記載しております。またFANTSの平均MRRは、コミュニティ内で販売したグッズ収益や開催したイベント収益を除いて算出しています。

※3：TUNAG / FANTS の売上高ストック比率は、期末時点のものではなく、四半期の累計実績を記載しております。



# TUNAG事業のストック収益は、前年比増加率40%前後の高い水準を維持。 一方で、FANTS事業の前年比増加率は底上げが必要と認識。

TUNAG事業のストック収益

(千円)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	149,666	152,088	159,617									
前期	105,862	108,782	112,334	117,239	118,558	120,450	124,708	131,299	133,520	137,517	140,367	145,637
前年比増加率(%)	41.4%	39.8%	42.1%									

TUNAG事業のフロー収益

(千円)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	10,343	6,433	17,266									
前期	15,172	2,175	11,945	6,993	10,166	10,700	16,268	7,067	7,311	11,396	18,830	10,336

FANTS事業のストック収益

(千円)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	13,167	13,318	12,927									
前期	12,026	11,378	11,171	12,174	12,857	12,332	12,738	12,621	13,039	13,084	13,185	13,583
前年比増加率(%)	9.5%	17.1%	15.7%									

FANTS事業のフロー収益

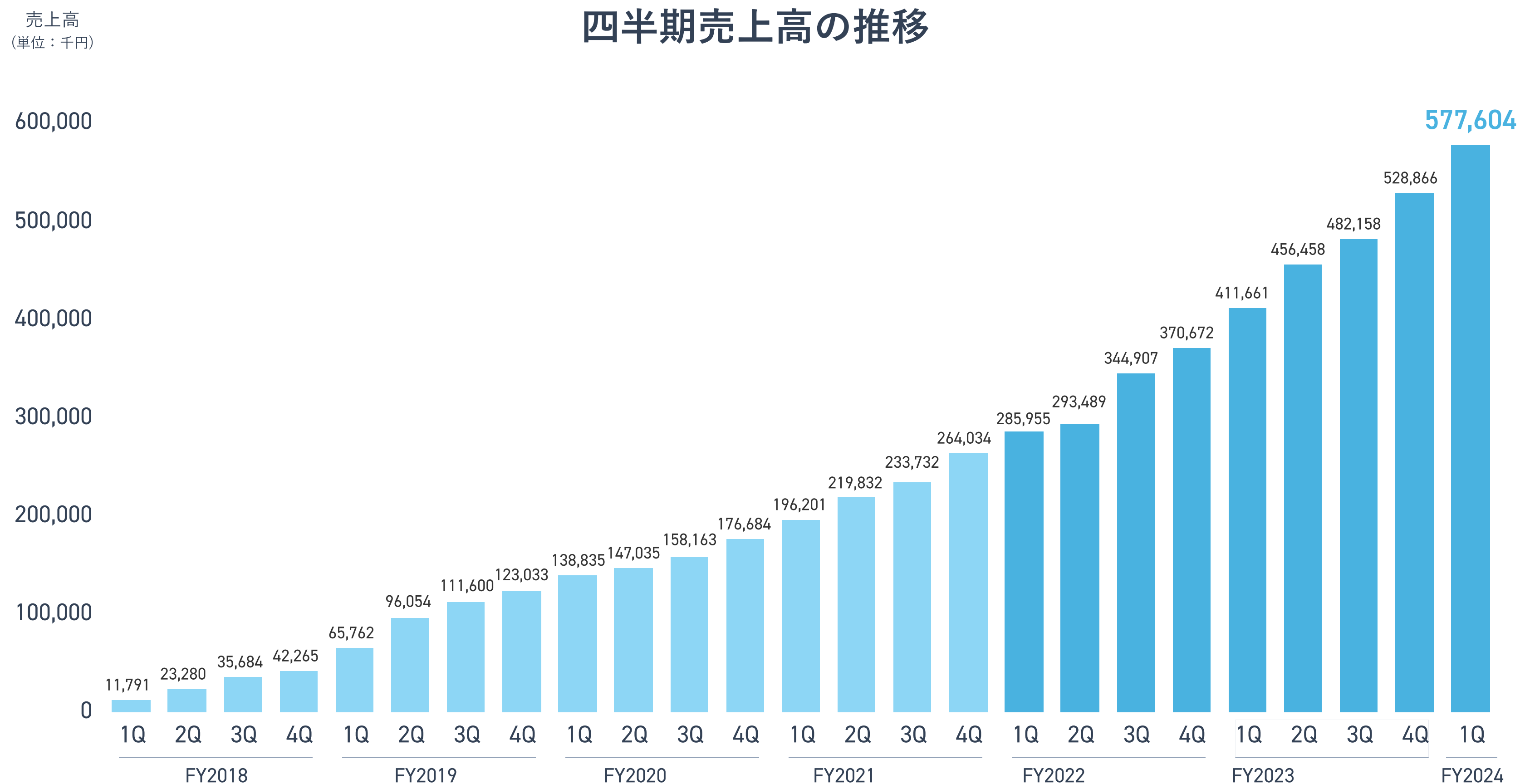
(千円)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	5,494	8,120	9,828									
前期	8,533	5,890	2,180	8,379	9,960	10,156	3,859	2,540	8,613	4,803	3,450	2,737

第1四半期の業績は、売上高が前年同期比・前四半期比で大きく増収。  
テレビCMなどの各種プロモーションへの投資により、各段階利益は減益。

(百万円)	2023/12期 1Q (前年同期)	2023/12期 4Q (前四半期)	2024/12期 1Q (当四半期)	前年同期比	前四半期比
売上高	411	528	577	+40.3%	+9.2%
売上総利益	324	412	447	+37.9%	+8.4%
利益率	78.9%	78.0%	77.5%	-1.4pt	-0.5pt
営業利益	49	54	27	-43.2%	-49.2%
利益率	11.9%	10.4%	4.8%	-7.1pt	-5.6pt
経常利益	49	52	27	-43.4%	-46.7%
当期純利益	38	40	-1	-	-

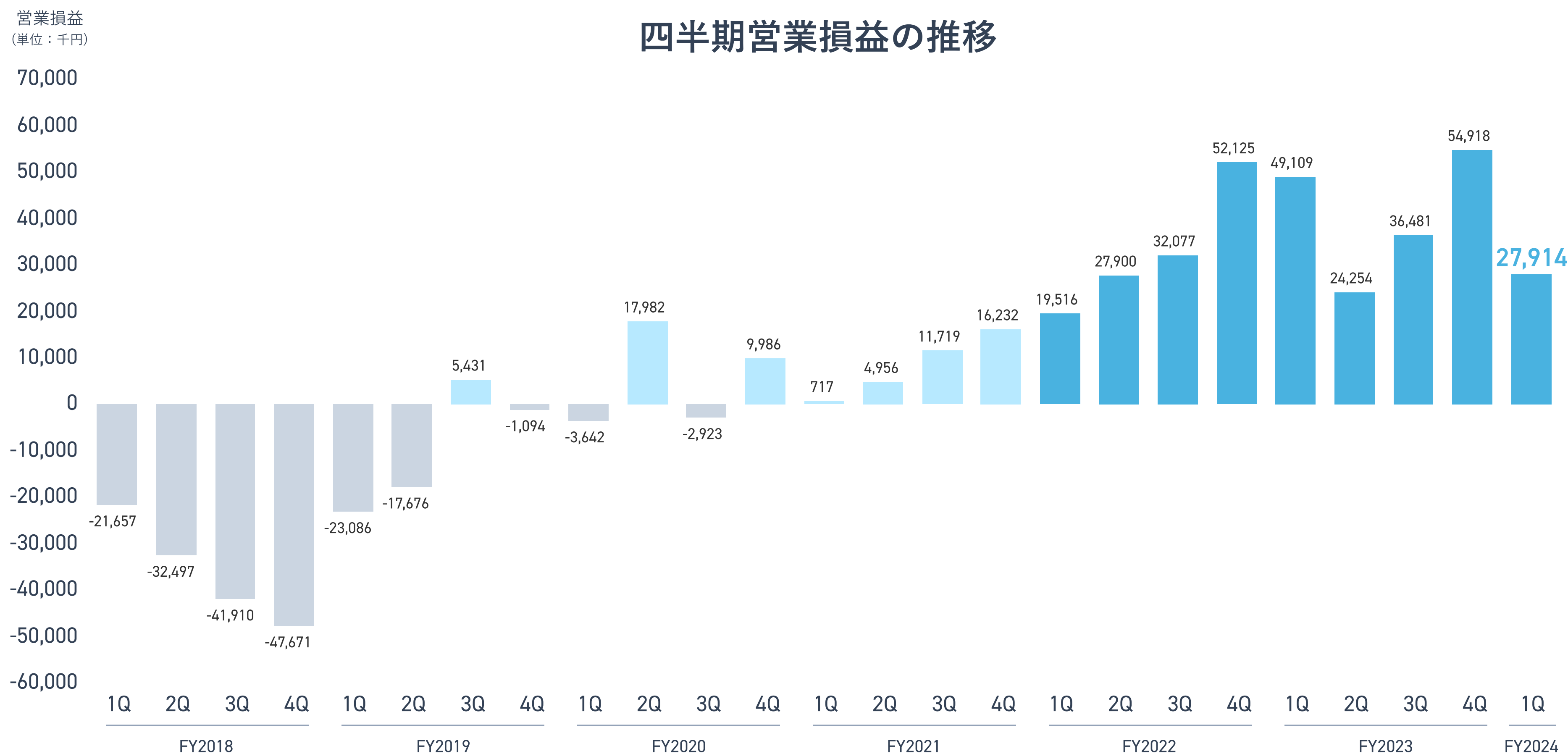


# グループ全体で順調に増収を継続。 通期業績予想の達成に向けて、順調に推移。



※連結対象：FY2022 1Qより株式会社STAGE、FY2023 1Qより株式会社スタジアム

テレビCMや大型展示会出展などの成長投資を継続しながらも、  
前四半期に引き続き営業利益は黒字で着地。



※連結対象：FY2022 1Qより株式会社STAGE、FY2023 1Qより株式会社スタジアム



金融機関とのアライアンス強化を目的とした借入を実行。

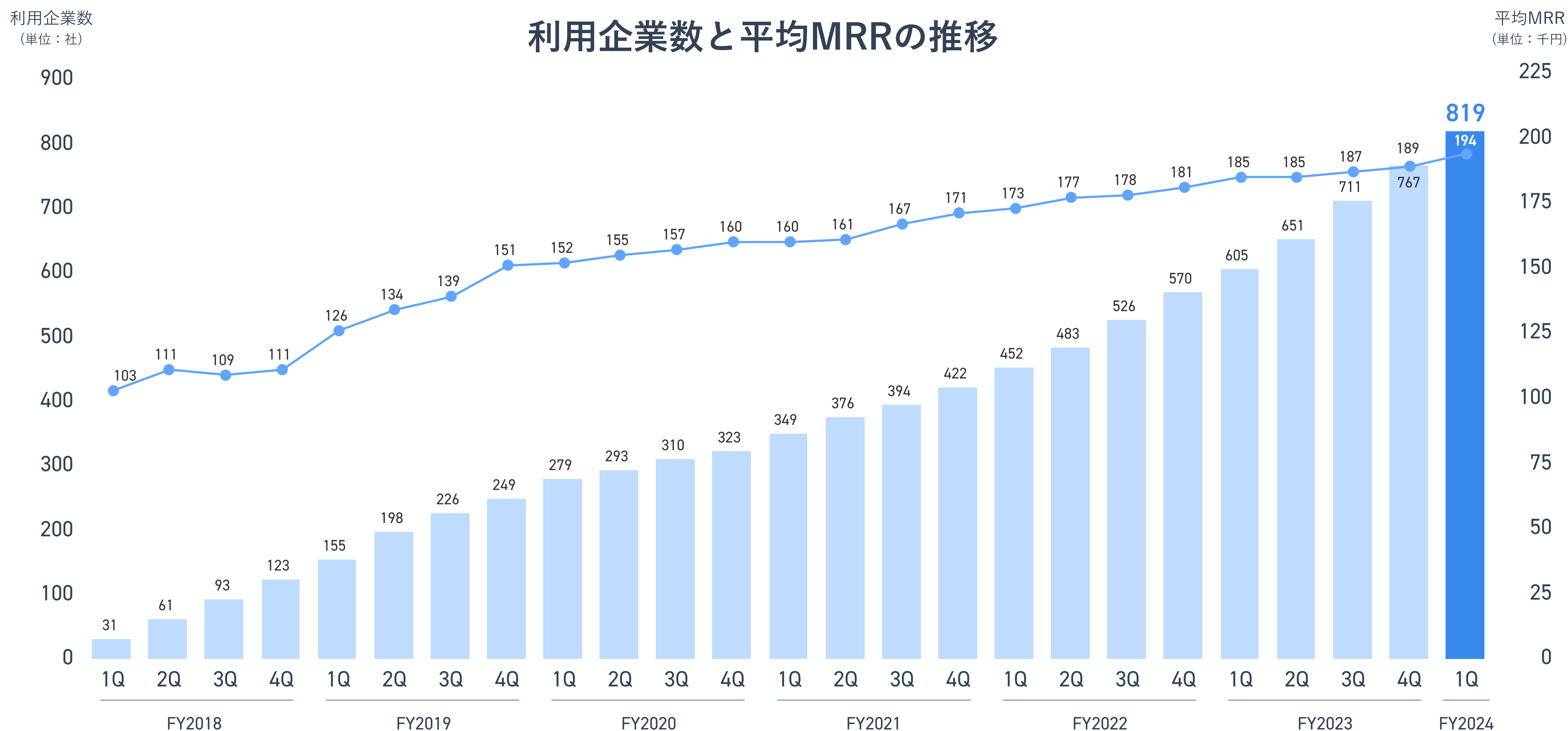
その上で、自己資本比率50%以上 流動比率230%以上と、高い財務安全性を継続。

(百万円)	2023/12期末	2024/12期 第1四半期末	増減額
流動資産	1,586	1,692	+106
固定資産	252	270	+18
資産合計	1,838	1,963	+125
流動負債	574	727	+152
固定負債	48	50	+1
負債合計	622	777	+154
株主資本	1,185	1,151	-33
純資産合計	1,215	1,186	-29
負債純資産合計	1,838	1,963	+125
自己資本比率	64.5%	58.7%	-5.8pt

# 従業員エンゲージメント事業 (TUNAG)

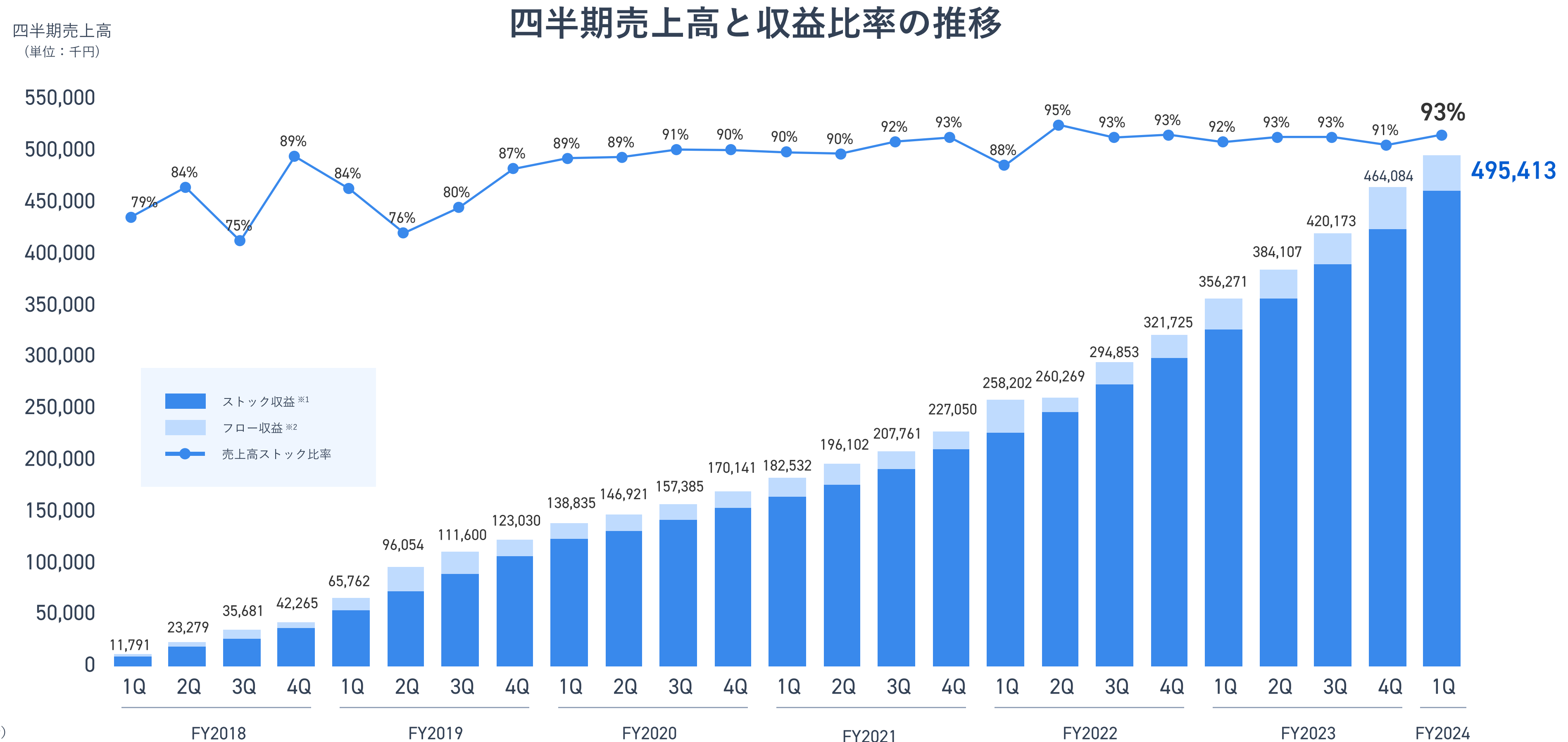


平均MRRは194千円に伸長。引き続き、中長期で**200千円**の突破を目指す。  
 利用企業数は前四半期比で**52社**純増。今期中の**1,000社**突破を狙う。



※上記図表に記載の数値は、各四半期末時点のものを記載しております。

# 売上高ストック比率は安定的に90%以上の高水準を維持。 今後も90%程度を目標値に据える。



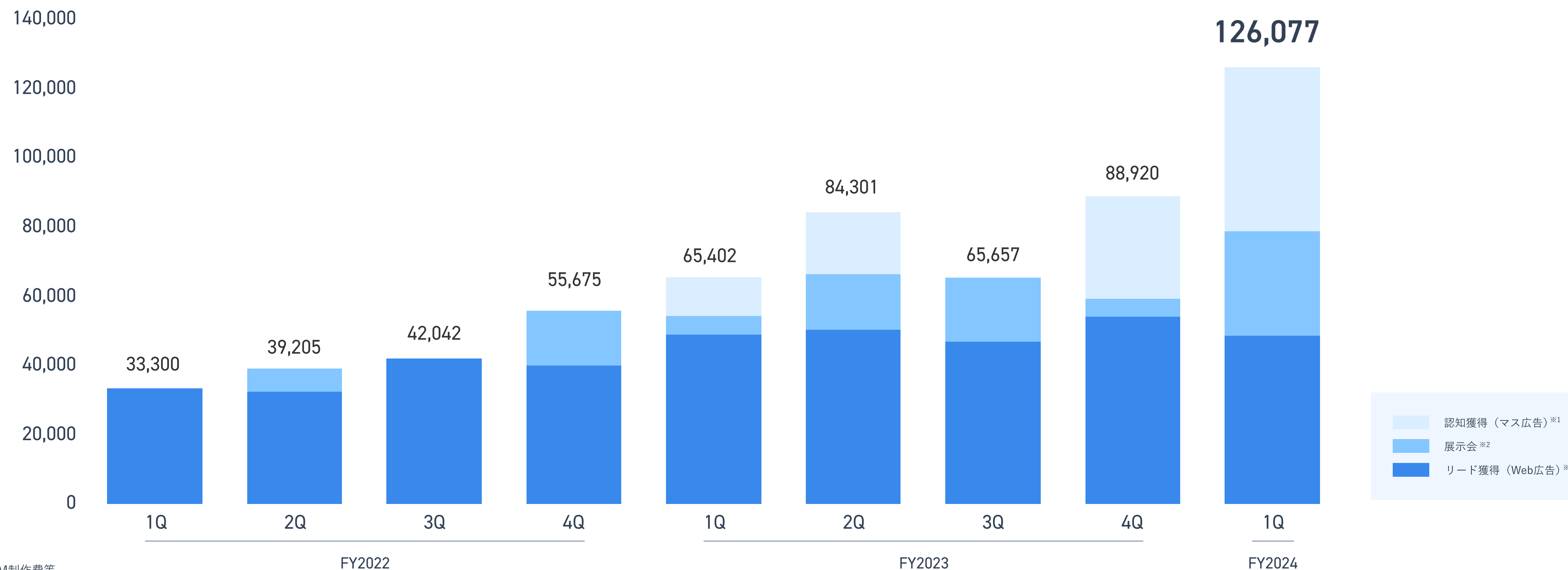
※1：TUNAGのシステム利用料（月額課金）  
 ※2：TUNAGの初期費用等



この第1四半期では約1.2億円を広告やプロモーション活動・展示会出展に投資。  
 第2四半期以降で、売上高成長率のさらなる加速を目指す。

四半期売上高  
 (単位：千円)

四半期広告宣伝費の推移



※1：タクシー広告、テレビCM制作費等  
 ※2：HR EXPOなどの大型展示会の出展費用等  
 ※3：SNS広告、リスティング広告、ディスプレイ広告等



# お笑いコンビ「EXIT」を起用した広告クリエイティブを展開。 テレビCM、タクシー広告、各種プロモーション活動に活用。



## テレビCM

昨年より、飲食や小売などの店舗を運営する企業の導入が増加傾向にあることから「スマホでバイトをDX」をテーマとした新CMを3種類制作。当社として、初の関東圏でのテレビCMを4月より放映中。

## タクシー広告

テレビCMの放映に連動させる形で、新しく制作した映像をタクシー広告にも展開し、関東圏で配信中。



## 109フォーラムビジョン

昨年より放映枠を確保している109フォーラムビジョンにも、新CMを放映中。





# 以前から主要な顧客獲得経路である、大型展示会の出展を強化。 5月のHR EXPOでは大型看板にもサービスビジュアルを掲出。

2024年

1月

スマート物流 EXPO



場所：東京ビッグサイト  
会期：1/24～1/26（3日間）

2月

DX総合 EXPO



場所：東京ビッグサイト  
会期：2/20～2/22（3日間）

3月

リテールテック JAPAN



場所：東京ビッグサイト  
会期：3/12～3/15（4日間）

5月

HR EXPO



場所：東京ビッグサイト  
会期：5/8～5/10（3日間）



出入口上部の大型看板に掲出



# TUNAGを利用中の企業が「スマホで活用できる福利厚生サービス」を機能拡充。企業独自の福利厚生メニューの運用が可能に。



従業員に喜んでもらえる新しい福利厚生を実現する

## カスタムクーポン機能リリース

これまでの「TUNAGベネフィット」は、ご契約中の企業に一律のメニュー提供でしたが、この度企業独自の福利厚生メニューを掲載可能に。また操作面においては、カテゴリ検索や、キャンペーンバナーの表示がされるようになり、利便性も向上。

### UI / UXの改善

✓ カテゴリ検索 ができるように

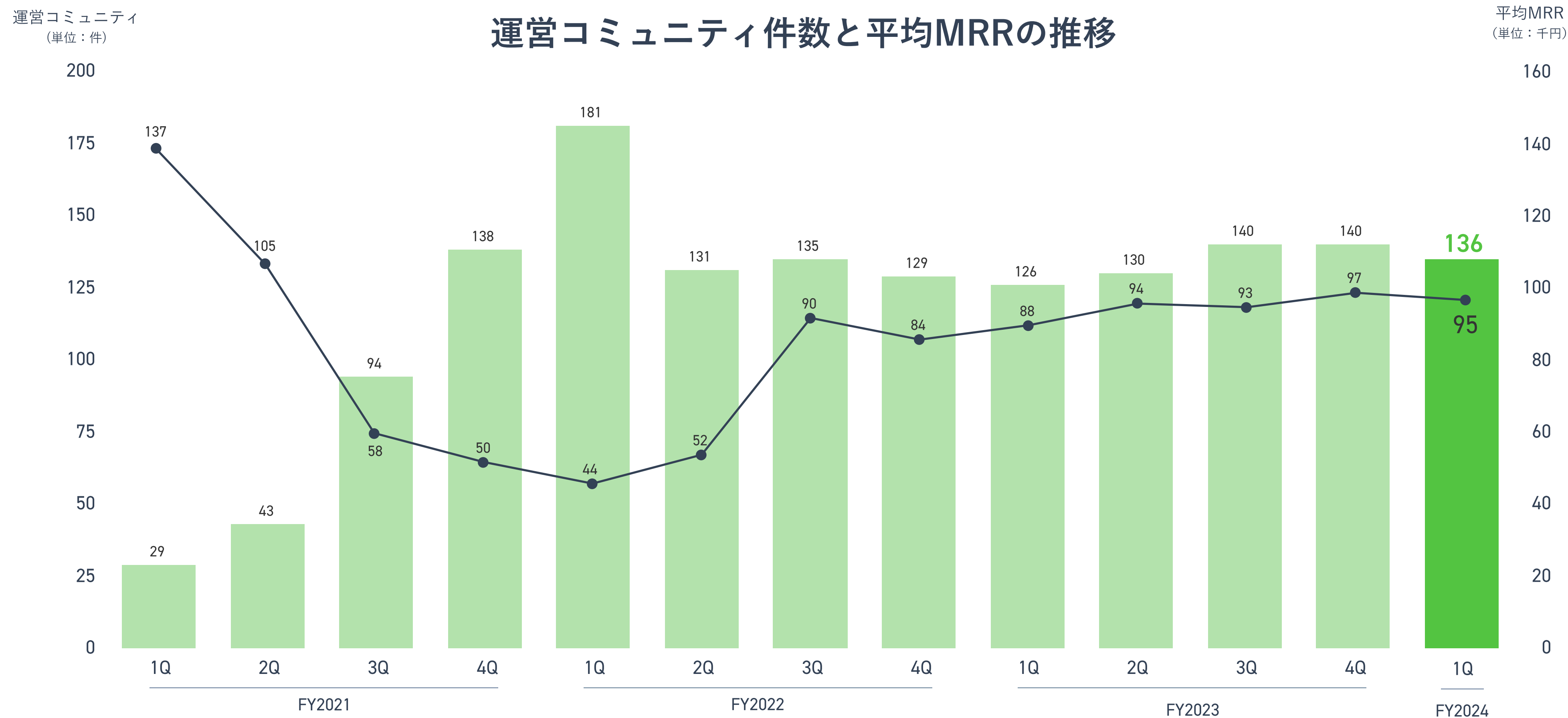


✓ キャンペーンバナー が登場



コミュニティ  
エンゲージメント事業  
(FANTS)

# 運営コミュニティ件数、平均MRRともに微減。 平均MRRは中期的に150千円台を目指すべく立て直しを図る。

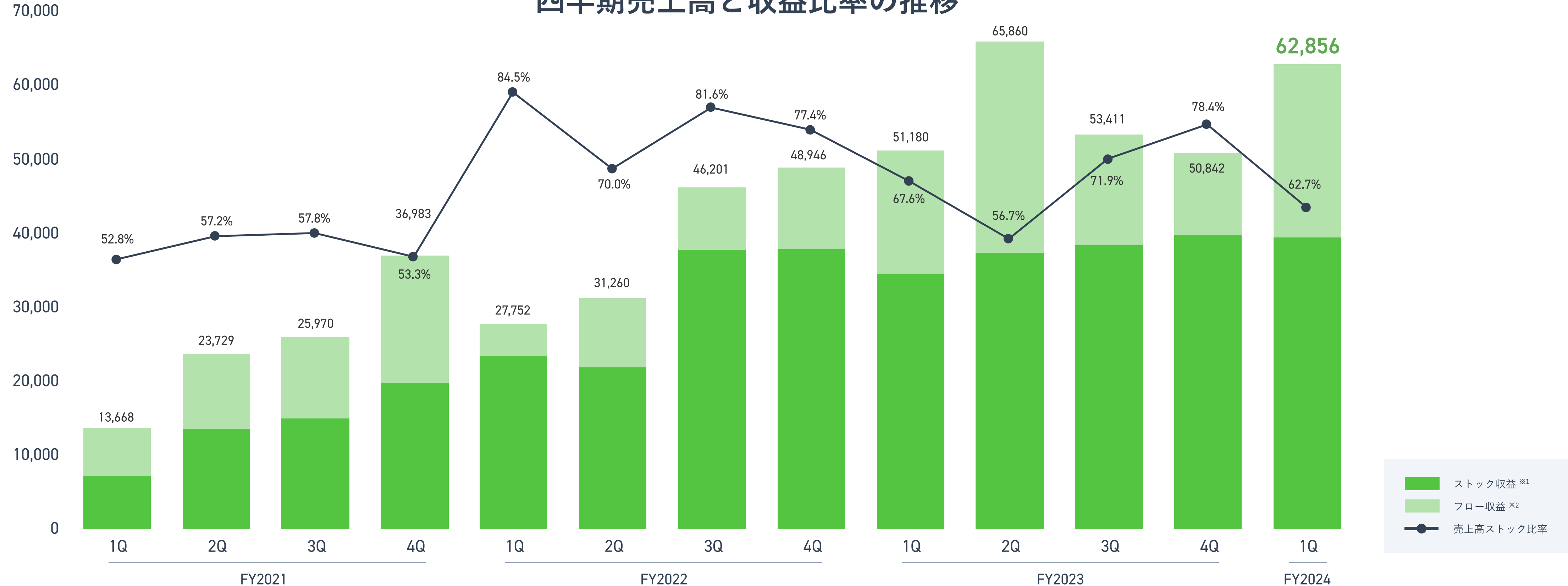


※上記図表に記載の数値は、各四半期末時点のものを記載しております。

# 運営コミュニティでのイベント収益や、FANTS開設時の初期費用などの計上により、前四半期比でフロー収益が増加。

四半期売上高  
(単位：千円)

四半期売上高と収益比率の推移



※1：FANTSのシステム利用料（月額課金）

※2：FANTSの初期費用、イベント収益、プロモーションサイト制作費など



# FANTSアプリのみで完結する、ライブ配信機能を提供予定。 コミュニティ会員のエンゲージメント向上とLTVの最大化を狙う。

## 新機能の紹介

FANTSを活用したオンラインコミュニティには様々な種類が存在しているが、書道やゴルフなどの「趣味・習い事」関連のコミュニティが直近で多数開設されている。これまでは外部ツールを活用したライブ配信を行っていたが、ニーズの高まりを受けて機能の内製化に着手。この機能追加により、FANTSに登録しているユーザーの参加が簡便になり、サービスの訴求力の強化を見込む。本機能の全体リリースは2024年7月頃を予定。

## ✓ 新規開設コミュニティ



### RESIZE BODY

タレント・身体美容家®の優木まおみさんが主宰する、女性限定のオンラインピラティスコミュニティ。リアルタイムのオンラインレッスンや、サークル活動、オフラインイベント等も実施予定。

<https://resizebody-salon.fants.jp/>



### &sauna community

『&sauna』は北海道文化放送が運営する、全国各地の魅力的なサウナと、カルチャーを探索プロジェクト。TV、Youtubeに加えて、この度、オンラインコミュニティをFANTSで開設。

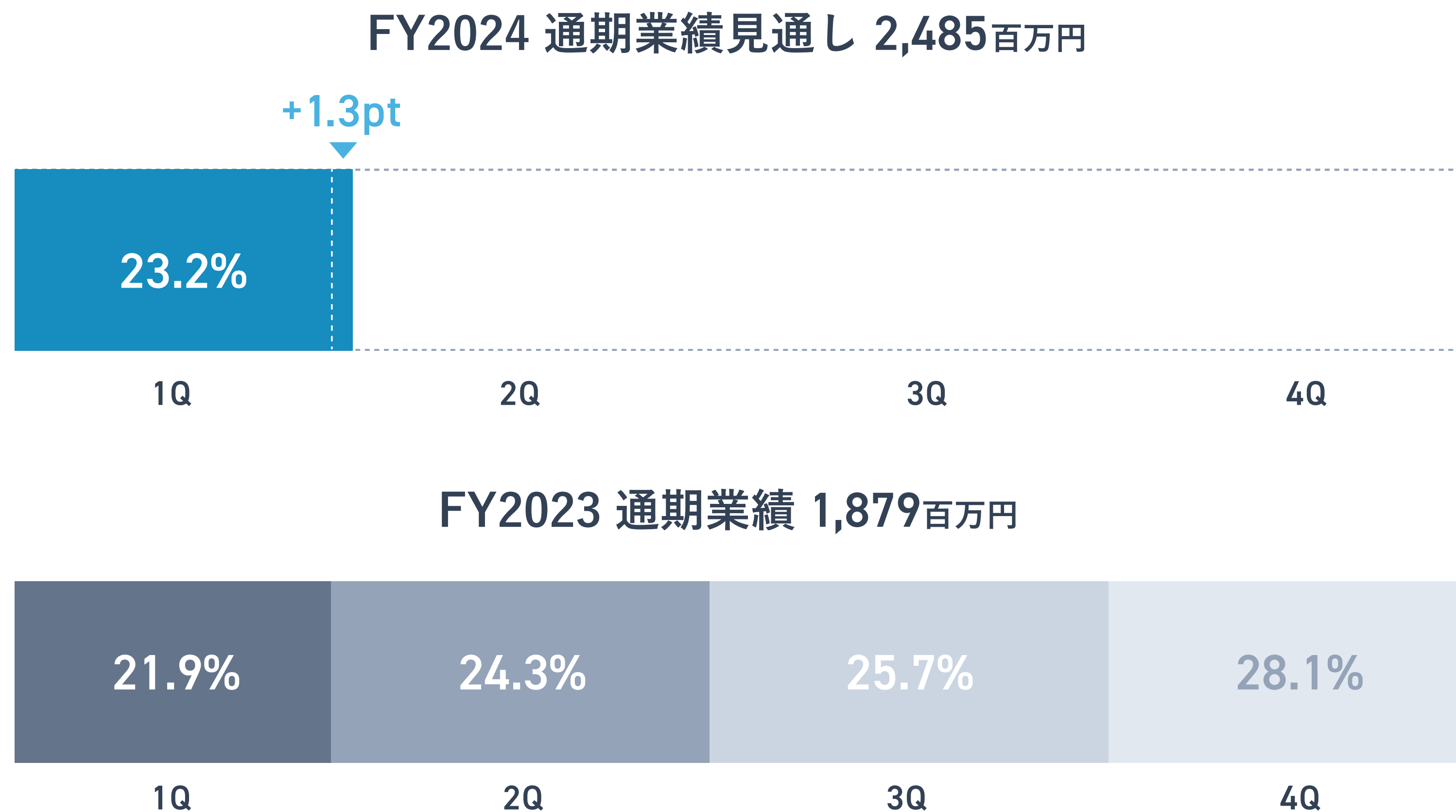
<https://andsauna-community-salon.fants.jp/>



2024年12月期

# 業績見通し

当社はSaaSビジネスをメイン事業としており、例年、3Q・4Qの寄与度が大きい。  
 1Qまでの予算進捗 23.2% は、昨年度の進捗 21.9% を上回るペース。



※FY2024の進捗率は業績予想に対する進捗率、FY2023の進捗率は実績に対する進捗率

売上高、各段階利益ともに順調に推移。  
各段階利益が大幅に上振れしているが、通期では計画範囲内での着地を想定。

(百万円)	FY2024 (業績見通し)			FY2024 (実績)		
	上期予想	下期予想	通期予想	1Q実績	上期進捗率	通期進捗率
売上高	1,136	1,349	2,485	577	50.8%	23.2%
営業利益	-120	150	29	27	-	96.3%
経常利益	-119	147	28	27	-	99.5%
当期純利益	-119※	121※	2※	-1※	-	-

※当期純利益の算定にあたって、法人税等は税引前当期(四半期)純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率を乗じて見積計上しております。

法人税等には税効果会計の影響を加味して算定しておりますが、実績の業績動向に基づく繰延税金資産の回収可能性の見直しによって、実際に計上される金額と予想数値と異なる場合があります。これにより、当期純利益の実績金額が変動する可能性があります。



補足資料

社名	株式会社スタメン
創業	2016年8月1日（設立：2016年1月29日）
所在地	東京本社：東京都千代田区神田錦町2-2-1 名古屋本社：名古屋市中村区下広井町1-14-8
代表者	大西 泰平
従業員数	87名（2024年3月末時点の単体正社員数）
事業内容	エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」の企画・開発・運営 クラウドセキュリティサービス「漏洩チェッカー」の企画・開発・運営
グループ会社 (連結対象)	株式会社スタジアム 株式会社STAGE

会社名

主要なサービス名

概要

stmn.inc.

株式会社スタメン

 TUNAG

組織課題の改善に向けた施策の設計、分析画面を用いた改善活動まで、ワンストップで実施可能なプラットフォーム。

 漏洩チェッカー

人的ミスなど内部からの情報漏洩を防ぐために、社用PCの管理・監視を行い、管理工数の効率化、情報漏洩対策を支援するクラウドセキュリティサービス。

 STADIUM

株式会社スタジアム (グループ会社)

 FANTS

企業向けの従業員エンゲージメントサービスをBtoBtoC向けに拡張した、コミュニティのエンゲージメント向上を支援するSaaS型コミュニティ運営プラットフォーム。

 STAGE

株式会社STAGE (グループ会社)

 STAGE

エンゲージメントやカルチャーマッチを重視した、採用支援サービス。市場価値を高めるためのサポートや、入社後の定着フォローも実施。



「会社と従業員」および「従業員同士」の相互信頼関係のこと。  
欧米では広く浸透した概念であり、数年前から日本国内でも認知が進み、  
経営の重要指標として注目が高まっている。





「ウィリス・タワーズワトソン」「ギャラップ」などの世界的コンサル会社の調査・研究により、「企業の業績向上」との相関関係の有無が明らかにされている。



従業員エンゲージメントについて、調査や研究、実証実験を進める世界的なコンサルティング企業





TUNAGは組織課題の改善に向けた施策の設計、プラットフォームを用いた実行、分析画面を用いた改善活動まで、ワンストップで実施可能。



組織課題に合わせた、  
自社独自のエンゲージメント施策を設計



施策の効果を最大化するための  
画面設計と機能



施策の運用状況や、  
リアルタイムな組織状態を可視化



利用企業から月額利用料金と初期導入料金をいただくことで、安定した収益基盤を限界利益率の高い形で構築することができる。





目下の重点施策であるエンタープライズ向けの営業強化や、販売パートナーの拡大、株式会社以外へのターゲット拡張などが形になってきており、顧客基盤も着々と広がっている。

## 大企業

(従業員数1,000名以上)



## 中規模企業

(従業員数100～999名)



## 少数精鋭企業

(従業員数～99名)







### クローズドSNS

情報がリアルタイムに蓄積されていく、カスタマイズ性の高い社内SNS

- ・社内制度の活用内容がタイムラインに流れ込み、制度の自走化を促す
- ・オリジナルスタンプや必読投稿、メンションコメントなどコミュニケーションを活性化させる豊富な機能群
- ・社内ポータルとしても活用できる柔軟なカスタマイズ性が特徴



### 社内制度一覧

社内制度や福利厚生を一括で管理・運用できるプラットフォーム

- ・社内制度をカテゴリ毎に整理したり、要件や項目を自在にカスタマイズできるTUNAGのメイン機能
- ・申請や報告といった形でワークフローを設定したり、利用条件や公開条件を設定したり、利用履歴を蓄積したりと細かな設定が可能



### 組織サーベイ

組織のエンゲージメントスコアを即時調査、データで組織状態を見える化する診断機能

- ・部署や役職毎など、組織に合わせてセグメントした分析が可能
- ・経年比較や属性比較など、様々な角度から組織の状態変化を可視化
- ・診断結果に合わせて、TUNAG上で改善施策を設計・運用することが可能
- ・独自のカスタマイズ設問を追加することも可能



### 社内ポイント

制度に合わせて自在に設定し、柔軟なインセンティブ設計やゲーミフィケーションが可能なリワード機能

- ・利用時にポイントを自由に付与したり消費したりと、柔軟なカスタマイズが可能
- ・ポイントの名称も自由に命名可能で、ポイントを社員同士が相互に送り合うことも可能



### 組織一覧

社内の組織ツリーを一覧で見える化でき、社員のプロフィール情報も一括管理できる人材DB

- ・組織毎に担当上長や、組織の説明、構成メンバーなどを一括で管理でき、会社の全体像が見える化
- ・プロフィール項目は自在にカスタマイズでき、制度の投稿内容と連動して自動更新をかけることも可能で、動的な人材DBの構築が可能



### ビジネスチャット

情報セキュリティや組織ガバナンスに配慮した運用が可能なチャットコミュニケーション機能

- ・人材DBと連携してチャットルーム管理が可能
- ・個別チャットやグループ作成などの可否が権限設定可能
- ・オリジナルスタンプにも対応
- ・チャットルーム毎にファイル管理機能も搭載



### ワークフロー

申請・承認などの社内業務手続きを、部署や役職に合わせてスムーズに電子化する社内決裁機能

- ・社内制度毎に自由に柔軟な電子決裁の導入が可能
- ・決裁履歴は、検索機能でいつでも簡単に遡り、確認することができる
- ・決裁者不在時のスキップ処理や、部署単位の決裁フローなども簡単に設定
- ・スマートフォンには決裁依頼の通知が飛ぶので、やり取りもスムーズ



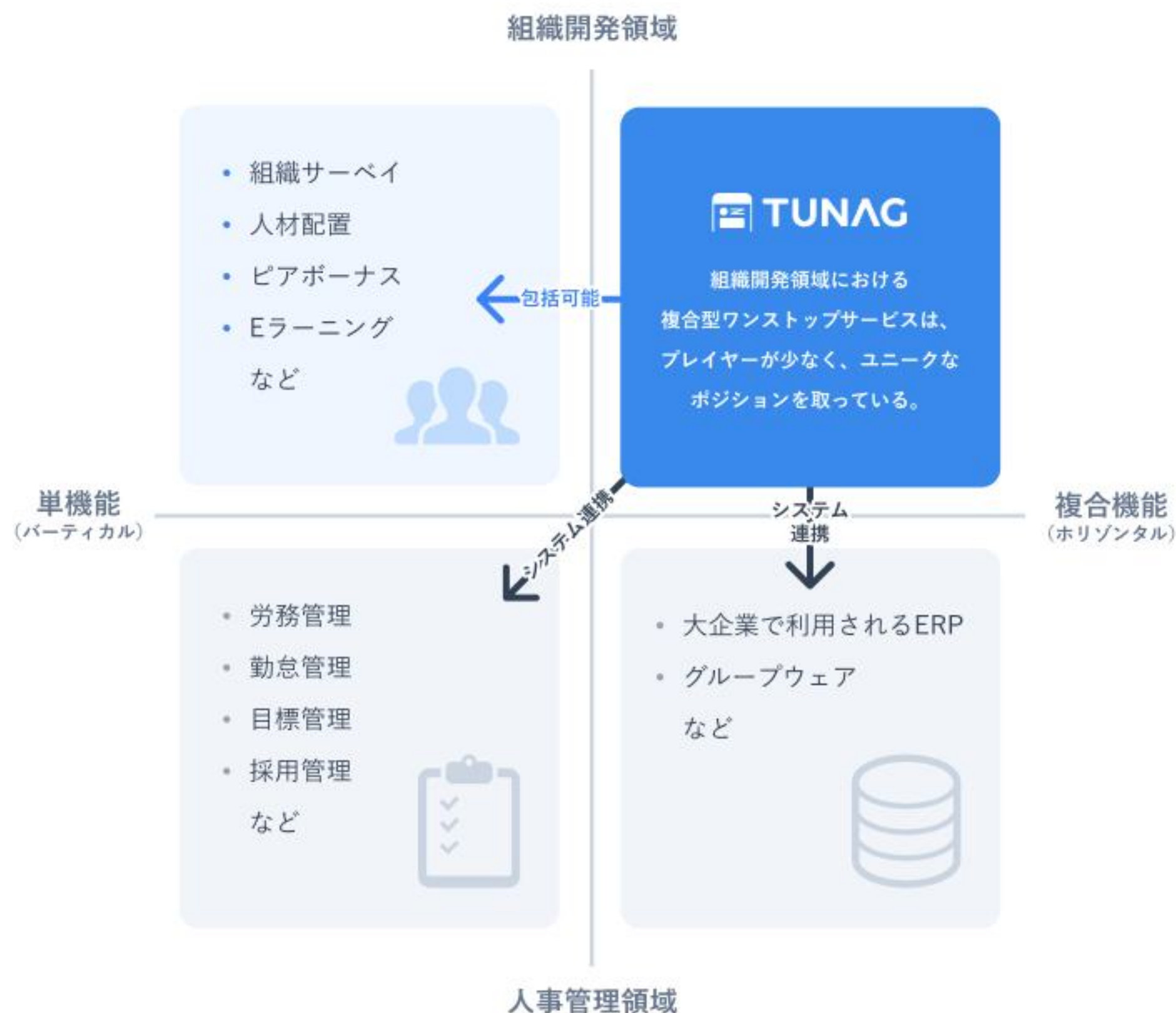
### データ分析

社内の活性化状況や組織運営におけるアクションデータをワンタッチで確認できるダッシュボード機能

- ・ログイン率や制度利用率、コメント率といった各種指標が一目で確認可能
- ・日次、週次、月次など期間や、部署、役職でセグメントした分析も簡単
- ・エンゲージメント向上において重要な企業毎のヘルススコアも算出
- ・反響の大きい投稿やユーザーもランキング形式で把握ができる



市場創生期のマーケットでユニークなポジションを取っているため、  
直接競合する他プロダクトが非常に少なく、かつ、  
システム連携により既存ツールとバッティングせずに導入ができる。



### HRテクノロジーサービスにおいて TUNAGが有する競争優位性

- 組織に属する全スタッフが活用する
- ユーザーが日常的にサービスにログインする
- 1日のうちに何度もサービスを利用する
- 1つのサービスで様々な使い方ができる
- 活用状況を直感的に分析し、PDCA改善ができる
- 業種業態や規模を問わず、導入検討ができる
- 導入時に開発リソースが一切不要
- 他領域のSaaSサービスとの柔軟なシステム連携ができる



「漏洩チェッカー」は、社用PCの管理・監視により社内情報を効率的に管理することで、IT資産管理、情報漏洩対策、労務管理などをサポートするクラウドセキュリティサービス。

使いたい機能を  
必要な分だけ!

情報管理SaaS  
漏洩チェッカー



USBドライブ  
監視

ハードウェア  
資産管理

ソフトウェア  
資産管理

スクリーン  
監視

Web閲覧・操作  
監視

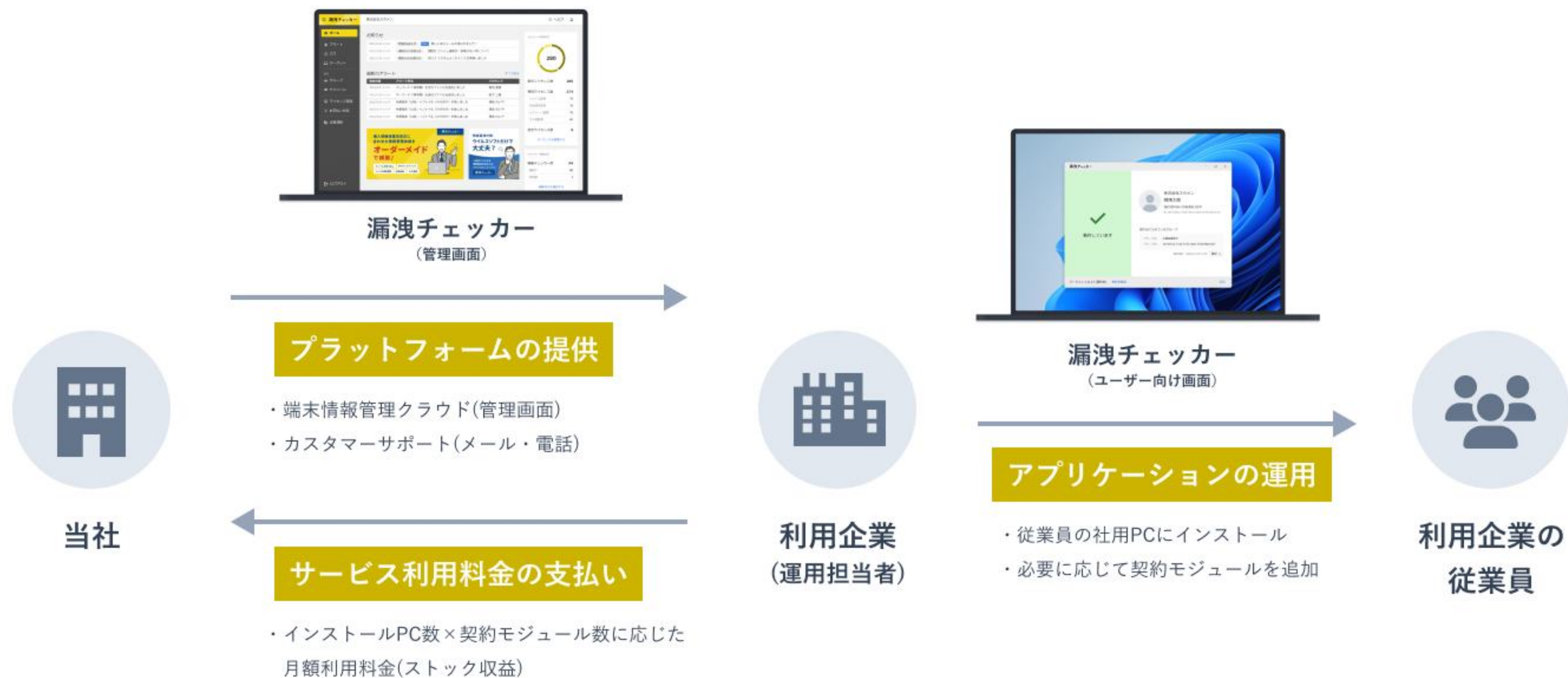
ログオン&  
ログオフ監視

ご利用まで、わずか3ステップ





漏洩チェッカーをインストールしたPC端末の数と契約モジュール数に応じて課金するサブスクリプションモデル。アカウント開設～インストールまで利用企業内で完結でき、端末情報管理が最短即日で運用開始が可能。

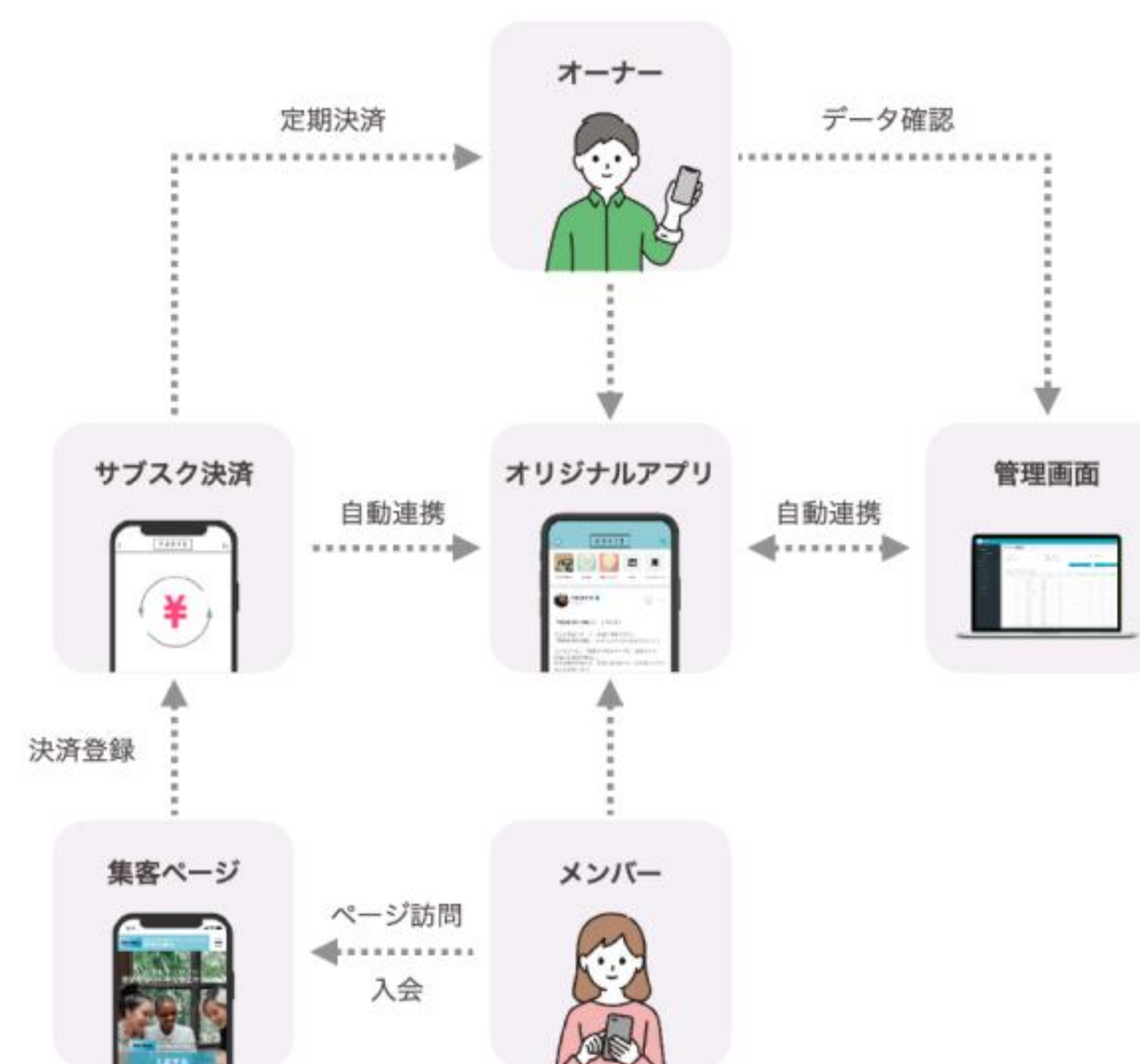




「FANTS」は、企業向けの従業員エンゲージメントサービスをBtoBtoC向けに拡張した、コミュニティのエンゲージメント向上を支援するSaaS型コミュニティ運営プラットフォーム。



コミュニティ運営に必要な機能を、  
ワンストップで提供





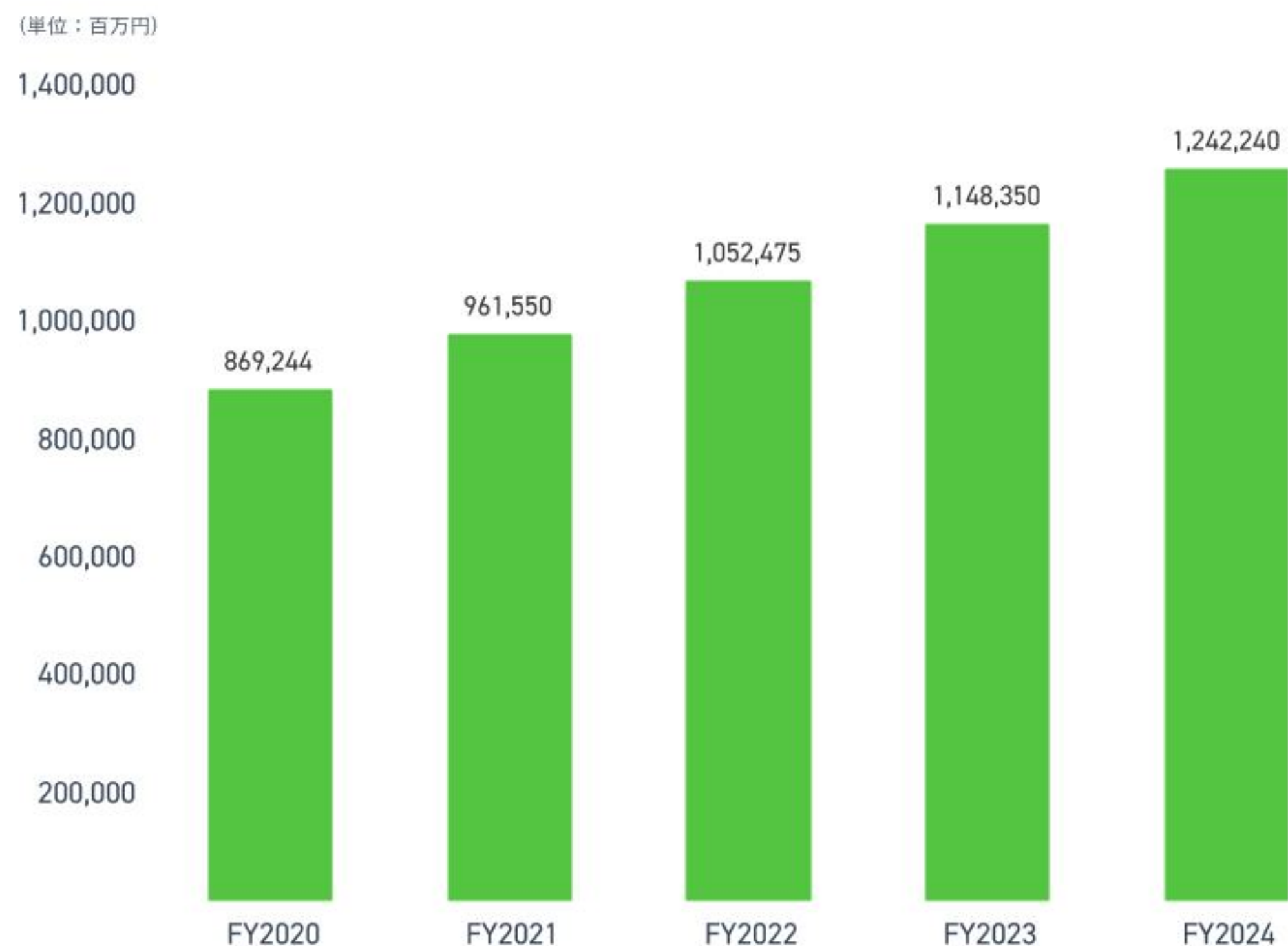
コミュニティが売り上げた運営収益から、  
レベニューシェアでサービス利用料金をいただくBtoBtoC型のSaaSサービスとなっており、  
運営コミュニティ件数と会員総数が当社収益と連動する。



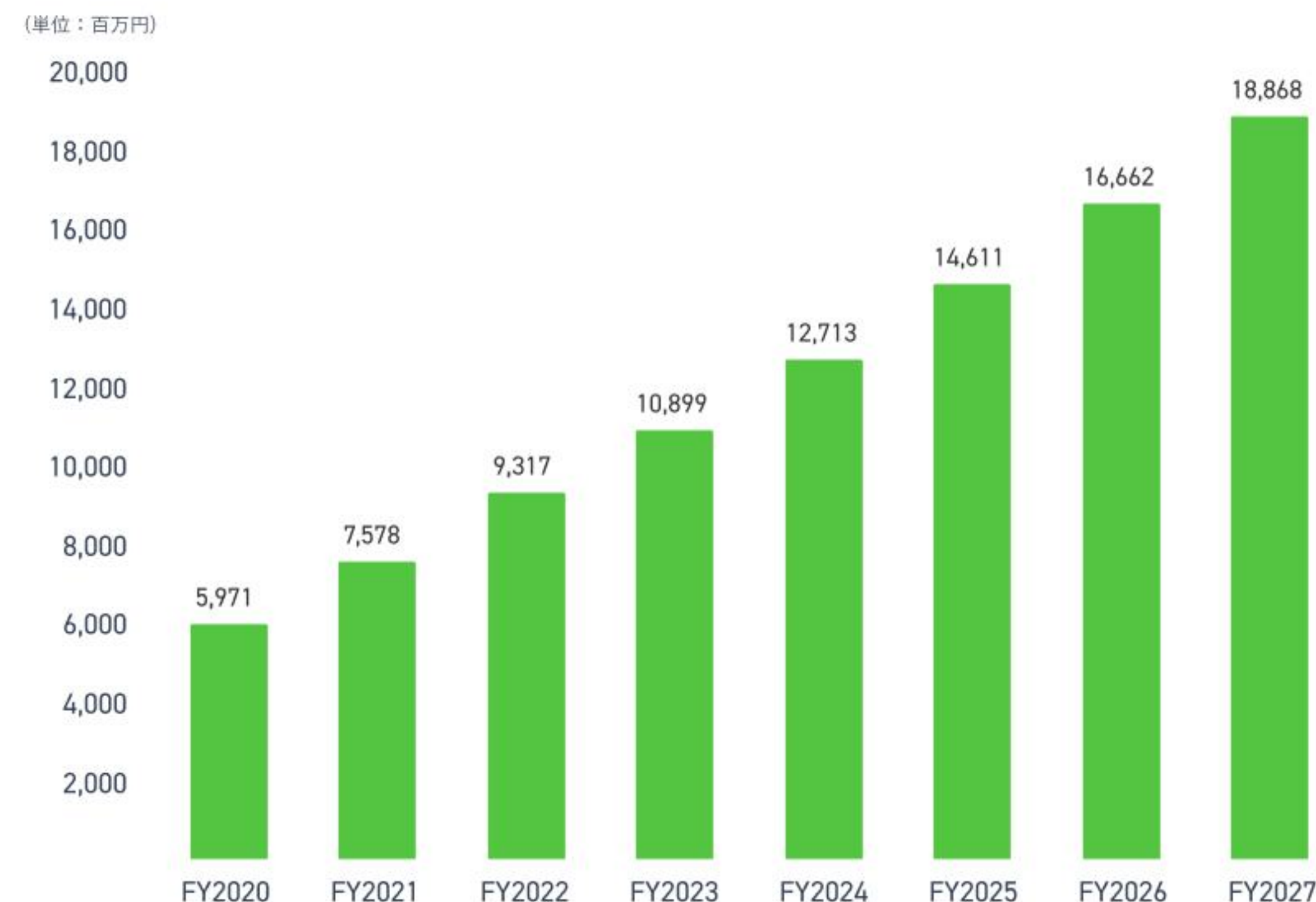


FANTSが対象とするサブスクサービスや、ソーシャルメディアマーケティングの市場は、いずれも高い成長性を示しており、事業の伸び代は非常に大きい。

### サブスクリプションサービス国内市場規模予測



### 国内ソーシャルメディアマーケティング市場規模予想





プロスポーツチーム、ミュージシャンやアーティスト、タレントや著名人、  
レジャー施設、YouTuber、協同組合、スクールや習い事など、  
幅広いカテゴリーでFANTSの運営コミュニティが拡大中。



レバンガ北海道『One Hoop』



田村 淳『大人の小学校』



王林『王林王国』



南知多ビーチランド『支援プロジェクト』



川原 卓巳『SMALL WORLD』



木下レオン『Polaris』



京都信用金庫『まちごとオフィス』



伊藤 聡美『Ito's Costume Making』



辻 直人『#TEAMNAOTO』



寿商店『ファミリーサロン』



柴崎 春通『ShibARTS』



JALまね『どもも倶楽部』



本資料に掲載する情報は、当社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。

本資料の掲載内容のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。また、今後の当社または当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

2018年12月期四半期会計期間及び2019年12月期四半期会計期間の財務数値については監査法人による監査を受けておりません。

20XX年12月期を「FY20XX」と記載し、四半期会計期間については「1Q～4Q」と記載しております。